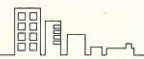


活動報告



「会員ライフサポート部」改め 「ライフサポート部」になりました

ライフサポート部 部長 寺尾詩子

ライフサポート部 活動報告 第51報 職場環境を考える

会員ライフサポート部が活動を開始して11年が経ちました。昨年度から公益社団法人となり、幅広く活動を還元していけるよう、「理学療法士全体」を意識して活動を継続していきます。そのような経緯から、今年度から名称を「ライフサポート部」に改めました。これからも、就業しやすい環境について、皆様とともに考えていきたいと思えます。

第32回神奈川県理学療法士学会 ランチディスカッション「子育て支援について」 に参加してきました!

平成27年3月22日に開催されました県学会で、ランチディスカッションに参加しました。これは、準備委員の皆様が新しく企画されたものです。その1つに「子育て支援について」というテーマがあり、これは是非参加せねばと楽しみにしていました。講師は「PTママの会」を設立して活躍中の河合麻美さんで、急性期の病院で働きながら、子育てしながら、埼玉県士会の理事もというスーパーウーマンです。ファシリテーターは薬樹株式会社経営企画室の吉澤隆治さんです。自作の「妊娠中職場あるある」ドラマを見せていただき、素人が作ったとは思えないリアル感に関心しながらお弁当を食べました。そのあと、妊娠中のPTとその周囲が抱える問題について、グ

ループで話し合いました。参加者は子育てまっただ中の子供連れのPT夫妻や、子育て経験のあるベテランママ、まだ子育ての経験はない若い男性教員の方、PTママなど多彩な顔ぶれでした。同僚の妊娠を素直に喜べないあるいは、全く受け入れない環境に悩まれている方もあれば、周囲や利用者さんからとても配慮されて、それもまた1人分として働かなきゃいけないのに申し訳ないという思いで辞めてしまったママさんもおられました。妊婦さんの体の状態、受け止め方は人それぞれ違います。その状態や気持ちを周囲に話すことができること、また周囲も自分の気持ちが言える職場であることがお互いの理解をするのに不可欠なことだと強く思いました。管理的な立場のPTが、突然の妊娠の申し出に本当は喜んであげたいのに、どうしていいかわからず「困ったなあ」という言葉や態度になってしまったんだ。とみんなの前で話すシーンがあり、冷たく見えた態度もその一言から周囲の空気が随分変わりました。子育てしながら働いているのが当たり前になってくれば、当たり前のこととお互い頑張っていけるのだと思います。今大変な皆さんも、私も声を出してお互いを思いやり、PTを続けていきましょう。

就業継続の問題は幅広いですが、テーマを絞ることで短い時間にも関わらず有意義な話し合いができる時間となりました。

